

全国さく井協会九州支部で講演しました

2012.11.02
技術部 神山

平成 24 年 11 月 2 日(金)に全国さく井協会九州支部主催で、「災害用井戸の推進を」というテーマの技術講演会が熊本県熊本市で行われました。

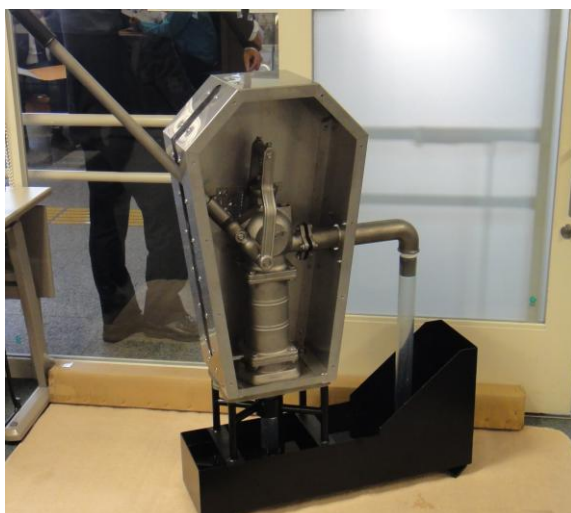


当社からは神山取締役と堀口関西支店長が講師として、「災害用井戸ポンプについて」というテーマで 100 名を超える諸官庁や協会会員の参加者を前に講演を行っています。

東日本大震災では当社の手押しポンプが被災された方々の水の確保に貢献することができたため、その経験を基に災害用井戸ポンプの重要性や使用事例等を中心に講演が行われました。

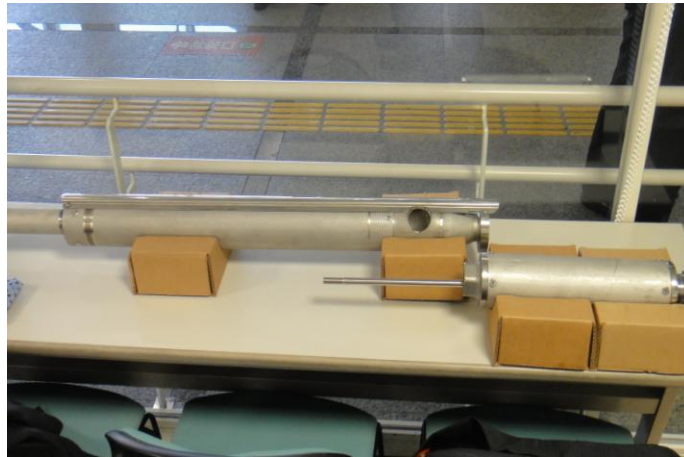
東日本大震災では宮城県の自治体で当社の手押しポンプによって被災者の方々に給水が行われたこと、東北地方だけでなく関東地方の茨城県でも大きな被害があったこと等、当社社員が見た震災後の状況から、井戸ポンプの重要性について説明が行われました。

また、各自治体や民間の防災への取り組み、災害用井戸ポンプのアプリケーションも説明され、講演後は多くの問い合わせが寄せられていました。



特に新たに開発した「タンデム式手押しポンプ」の問い合わせが多いので概略を説明します。

- ・ 一つの井戸に電動ポンプ(水中ポンプ)と手押しポンプを設置
- ・ 井戸径 100 mm以上、井戸水位 50m 以下であれば設置可能
- ・ 普段は電動ポンプを家庭用等に使用し、災害時の電源が遮断された時に手押しポンプを使用
- ・ 現在使用中の他社製の電動ポンプ(水中ポンプ)にも取付け可能なため、低コストでの設備投資ができる
- ・ 一般家庭で多く使用されている井戸径 100 mmに設置できるため、市民との協力の基に防災拠点充実化を進めることが可能
- ・ 手押しポンプはステンレス製なので、赤水の心配が無く衛生的



今後も各地で災害に関する講演会等が開催されると思いますが、被災者の方々が水の確保に困ることの無いよう、災害用井戸や災害用ポンプの推進に協力していきたいと強く感じました。

この度は、このような重要な講演会で講演の機会を頂きましたことに感謝申し上げます。